

# 検討課題と開催日程等について

2022年1月  
総務省国際戦略局  
宇宙通信政策課

## 1. NICT等における観測・分析・予測・警報の強化の在り方

(1) 観測能力の現状と強化方策

(2) 分析・予報の現状と強化方策

(3) 警報に関する体制強化

- 警報の基準、情報の伝達ルート、理解されやすい危険度分布(スケール) 等
- 普段からのリスクコミュニケーション、アウトリーチ、演習・訓練
- 極端な宇宙天気現象(エクストリームイベント)が社会経済にもたらす最悪シナリオとは

## 2. 社会インフラに対する影響と対処の在り方

(1) 産業界における対応の現状と課題、対応能力の強化

(2) 社会インフラに対する影響の理解(起こりえる障害の種類、規模、頻度、脆弱性)

(3) 影響の評価の在り方(モデリング、予測手法、ベンチマーク、行動基準 等)

(4) 産学官連携の在り方、障害発生状況に関する情報の共有・活用の在り方

## 3. 政策的な対応の在り方

## 4. その他

(1) 国際協力の在り方

(2) 人材育成の在り方

# 検討会の開催日程

| 回              | 開催日      | 議事次第(予定)  |
|----------------|----------|---|
| 2              | 1月26日(水) | (1)NICTにおける宇宙天気研究の取り組み<br>(2)NICTにおける定常業務の取り組み<br>(3)意見交換   |
| 3              | 2月4日(金)  | (1)科学研究費補助金:新学術領域研究「太陽地球圏環境予測」(PSTEP)の報告概要<br>(2)電力分野における影響<br>(3)意見交換  |
| 4              | 2月18日(金) | (1)衛星運用分野における影響<br>(2)宇宙天気予報ユーザー協議会(衛星帯電分科会)の取り組み(NICT、10分)<br>(3)意見交換  |
| 5              | 3月18日(金) | (1)通信・放送分野における影響<br>(2)測位分野における影響<br>(3)NICTにおける観測網の現状と課題   |
| 6              | 3月25日(金) | (1)航空機運用における影響<br>(2)乗務員等の被ばく防止<br>(3)「宇宙天気の警報基準に関するWG」からの中間報告<br>(4)報告書の構成案について                                |
| 7              | 4月12日(火) | (1)損害保険会社の取り組みと期待<br>(2)「宇宙天気の警報基準に関するWG」からの報告<br>(3)宇宙環境分野の人材育成のあり方<br>(4)NICTにおける国際協力の状況と展望<br>(5)報告書(骨子案)の検討 |
| 8              | 4月26日(火) | (1)宇宙天気予報の今後のアウトリーチ方策について<br>(2)報告書案について(その1)   |
| 9              | 5月10日(火) | (1)報告書案について(その2)<br>(2)報告書案の意見募集について  |
| 意見募集 5月中旬～6月中旬 |          |   |
| 10             | 6月21日(火) | (1)意見募集の結果について<br>(2)報告書案の決定  |

## 1. 設置の背景・理由

- 社会インフラの安定運用のため宇宙天気予報の重要性が高まり、米国等国外では、社会的影響の評価や国家戦略の発表等、宇宙天気の社会的リスクに備える動きが活発化。
- 我が国では、科学研究費補助金・新学術領域研究「PSTEP\*」(2015-2019)の活動の一つとして、宇宙天気現象の規模と我が国への社会的影響について検討・とりまとめ。
- 現在の予警報は現象の規模に着目した基準としているが、宇宙天気予報の利用者が具体的な対応を判断するためには社会的影響を基準とする予警報が必要である。
- このため、本WGでは、宇宙天気がもたらす社会的影響の大きさも考慮した新たな警報の種類・閾値について検討する。

\*PSTEP：太陽地球圏環境予測：我々が生きる宇宙の理解とその変動に対応する社会基盤の形成

## 2. 検討事項

以下の分野における警報の種類と閾値

「通信・放送」「測位」「衛星運用」「電力」「航空機人体被ばく」

## 3. WGリーダー

津川卓也(国立研究開発法人情報通信研究機構 宇宙環境研究室長)

## 4. WGメンバー

別途調整(参加希望者は事務局にお知らせください。)

## 5. スケジュール

本年3月中の検討結果の報告をめざして数回開催